

## 平成29年秋ダイヤ改正について

関鉄西日本では、平成29年9月16日（土）にダイヤ改正を実施します。

まず、ダイヤ改正に合わせて会社名を関鉄西日本から河鉄西日本に変更します。

在来線特急では「KAP」「グランツ古都」の増発と一部停車駅の見直し、特急「はまゆう」「しらはま」の運行開始、観光特急「せとかぜ」の京都発・和泉中央発の増発を実施します。近畿エリアでは、河鉄京都線・大阪線をはじめとする計5路線の新路線の開業・延伸や奈良線の一部複々線化による増発と一部列車の編成見直し、大姫線直通列車の増発を中心とした輸送改善を実施します。

この度、内容がまとまりましたので、お知らせします。

### 《 会社 》

- 会社名を「関鉄西日本」から「河鉄西日本」に変更

### 《 在来線特急 》

- 特急「グランツ古都」
  - ・列車名統一
  - ・増発による発車時間の統一と所要時間の短縮
  - ・一部列車の停車駅の見直し
- 特急「しらはま」「はまゆう」が白浜駅・和歌山駅～奈良駅間にて運行開始

### 《 在来線急行 》

- 急行「みやこ」が大阪駅～京都駅間にて運行開始
- 急行「やまと」が奈良駅～新大阪駅間にて運行開始

### 《 近畿エリア 》

- 河鉄京都線・大阪線・茨木東西線・紀伊線の新規開業・宝塚線延伸開業
- 河鉄奈良線一部区間の普通列車と大姫線直通列車の増発・赤穂西駅延伸
- 大阪環状線「快速列車」を設定し増発
- 河鉄奈良線の一部列車の編成の見直し
- 複数駅の駅名改称

ダイヤ改正日 平成29年9月16日（土）

## I. 会社

会社名を関鉄西日本から河鉄西日本に変更します。

ダイヤ改正に合わせて、会社名を関鉄西日本から河鉄西日本に変更します。



## II. 在来線特急

1. 特急「グランツ古都」に列車名を統一します。

関西空港アクセス特急を「グランツ古都」に列車名を統一します。



2. 特急「グランツ古都」を増発します。

インバウンド対策として、特急「グランツ古都」の運転間隔を60分から概ね30分間隔に短縮します。これにより、関西空港と奈良のアクセスがさらに向上します。

3. 特急「KAP」「グランツ古都」の一部停車駅を見直します。

特急「KAP」「グランツ古都」のうち朝夕時間帯の停車駅を見直します。また、9～14分の所要時間を短縮します。

4. 特急「しらはま」「はまゆう」の運行を開始します。

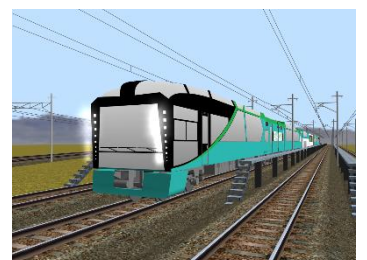
平成29年9月16日より特急「しらはま」（白浜～奈良間）及び特急「はまゆう」（和歌山～奈良間）の運行を開始します。



5. 観光特急「せとかぜ」の新コースの運行を開始します。

平成29年9月16日より観光特急「せとかぜ」の新コースとして、和泉中央発着・京都発着の2コースを新設します。

※運行日は別途お知らせします。



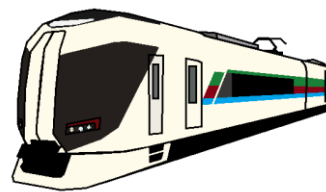
6. 観光特急「せとかぜ」を広島延伸し、中之島西駅・明石駅に新規停車します。

観光特急「せとかぜ」を現在の岡山から広島まで延伸します。これにより山陽エリアの観光が便利になります。また、奈良発着・和泉中央発着コースが中之島西駅に、全コースが明石駅に新規停車します。これにより、中之島エリアや明石エリアと山陽エリアのアクセスが向上します。

### Ⅲ. 在来線急行

1. 急行「みやこ」の運行を開始します。

朝夕時間帯に大阪～京都間にて急行「みやこ」の運行を開始します。



2. 急行「やまと」の運行を開始します。

朝夕時間帯に奈良～新大阪間にて急行「やまと」の運行を開始します。

### Ⅳ. 近畿エリア

1. 京都線・大阪線が開業します。

河鉄京都線（京都駅～大阪駅間）、河鉄大阪線（大阪駅～和泉中央駅間）が開業します。これにより堺エリア・大阪ミナミエリアと京都間のアクセスが向上します。また運行列車は7～15両編成となり、関西最大の輸送力を発揮します。

2. 茨木東西線が開業します。

茨木東西線（寝屋川駅～千里中央駅間）が開業します。また合わせてKRL 西国鉄道と相互直通運転を実施します。これにより、八尾・東大阪・寝屋川エリアからエキスポシティ等の万博公園エリアへのアクセスが向上します。

3. 紀伊線が開業します。

紀伊線（日根野駅～白浜間）が開業します。これに合わせて奈良駅～関西空港駅間の直通快速の運転を取り止め、代わりに新大阪駅～関西空港駅間の関空快速、新大阪駅～和歌山駅間の阪和快速の運行を開始します。



4. 宝塚線が延伸開業します。

宝塚線の尼崎港駅～宝塚駅間を延伸します。これにより宝塚線が全線開業します。



5. 奈良線の一部列車の編成を見直します。

奈良線の新快速において平日の日中時間帯の車両編成を12両から8両編成に変更します。なお土休日はこれまで通り終日12両で運転します。



6. 奈良線から宝塚線・大姫線への直通列車を増発します。

奈良と姫路を結び、朝夕時間帯に運行している区間直通快速をすべて直通快速へ格上げします。これにより大姫線内において快速運転を行います。また、直通快速を16～18本（1時間あたり上下1本）増発するとともに快速（大阪駅～姫路駅・赤穂西駅）を新設（1時間あたり上下2本）し、運転間隔を60分から概ね15分間隔に短縮します。これにより神戸・明石・姫路方面へのお出かけがさらに便利になります。さらに、朝夕時間帯の一部の直通快速を赤穂西駅に延伸します。これにより通勤・通学等が便利になります。

また、難波駅～宝塚駅間の普通列車を新設します。

7. 奈良線の一部区間の複々線化により列車を増発します。

平成29年9月16日より奈良線：難波駅～新大阪駅間が複々線化となります。これにより、難波駅～大阪駅間の普通列車の運転間隔を15分から概ね5～10分間隔に変更します。

8. 奈良線の新快速と普通列車の接続駅を統一します。

奈良線の新快速と普通列車の接続駅を難波駅と花園駅に統一します。これにより、接続時間の短縮を図り、利便性が向上します。

9. 大阪環状線に「快速」列車を設定し、増発します。

3月4日に開業した大阪環状線に「快速」列車を設定します。これにより、運行本数を219本から61本増発の280本運行します。また朝夕時間帯の運転間隔を5分から3分間隔に変更します。さらに、新型KW127系の投入により新大阪駅～ユニバーサルシティ駅間において7時台から22時台まで休日は終日12両編成で運行します。



10. 複数駅の駅名を改称します。

北梅田エリア唯一の駅である「うめ北駅」をはじめ、下記の駅において駅名を変更します。ご利用の際は、お気を付けてください。

| 改正前 | 改正後 | 改正前    | 改正後  |
|-----|-----|--------|------|
| うめ北 | 北梅田 | 大宮郵便局前 | 大和大宮 |

## V. その他

今回の改正において、その他線区でもご利用状況にあわせた列車の設定見直しを実施します。詳細につきましては、各支社のプレス発表資料などをご参照下さい。

最終的な列車時刻は、平成29年9月下旬に「河鉄たびネット」などでお知らせします。